

## 貸借対照表

(令和 4年 3月31日現在)

(単位：千円)

(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	615,871	<b>流動負債</b>	285,127
現金及び預金	470,047	支払手形	0
未収運賃	58,072	短期借入金	0
未収入金	29,551	1年以内長期借入金	36,720
短期貸付金	10,000	リース債務(流動)	71,392
貯蔵品	4,392	未払金	48,131
前払費用	39,574	未払事業税	0
繰延税金資産	0	未払法人税等	230
その他の流動資産	4,235	未払費用	40,335
貸倒引当金	0	前受収益	24,403
		預り金	42,479
		賞与引当金	21,437
<b>固定資産</b>	550,941	<b>固定負債</b>	864,080
<b>有形固定資産</b>	504,989	長期借入金	492,680
車両・運搬具	66,574	リース債務	52,098
建物	62,989	繰延税金負債	138
構築物	12,542	資産除去債務(固定)	6,995
機械装置	7,983	退職給付引当金	286,369
工具・器具・備品	1,963	役員退職引当金	25,800
リース資産	91,126	預り保証金	0
土地	261,812		
		負債合計	1,149,207
<b>無形固定資産</b>	1,064	(純資産の部)	
ソフトウェア	346	<b>株主資本</b>	17,605
諸施設利用権	718	資本金	50,000
<b>投資その他の資産</b>	44,888	利益剰余金	△ 32,395
投資有価証券	1,000	利益準備金	17,354
関係会社株式	26,514	その他利益剰余金	△ 49,749
出資金	858	別途積立金	14,500
差入保証金	10,103	繰越利益剰余金	△ 64,249
繰延税金資産	0		
その他	6,413	純資産合計	17,605
<b>資産合計</b>	1,166,812	<b>負債及び純資産合計</b>	1,166,812

# 個別注記表

## I. 重要な会計方針

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
商品、貯蔵品・・・・・・・・先入先出法による原価法
2. 有価証券及び出資金の評価方法及び評価基準  
有価証券、出資金・・・・・・・・総平均法による原価法
3. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産・・・・・・・・定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物については定額法を採用しております。）
  - (2) 無形固定資産・・・・・・・・定額法（なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。）
4. 引当金の計上基準
  - (1) 賞与引当金  
従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額基準により計上しております。
  - (2) 退職給付引当金  
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込み額に基づき計上しております。
  - (3) 役員退職慰労引当金  
役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労引当金内規に基づく期末要支給額を計上しております。
5. その他計算書類の作成のための基本となる重要事項
  - (1) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
  - (2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜方式（又は税込方式）によっています。

## II. 貸借対照表に関する事項

1. 担保に供している資産の額 土地	19,678千円
2. 有形固定資産の減価償却累計額	1,477,828千円
3. 関係会社に対する短期金銭債権	10,000千円
4. 関係会社に対する長期金銭債務	0千円
5. 関係会社に対する短期金銭債務	0千円

## III. 決算期後に生じた重要な事実

特記する事項はありません。